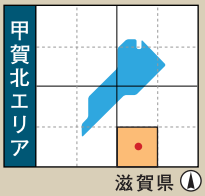
史跡
県指定

泉古墳群（いずみこふんぐん）

甲賀郡水口町泉　昭和57年3月31日指定



鈴鹿山系に水源を持つ野洲川が、水口の平野から流れ出る段丘上に築かれた古墳群が、泉古墳群です。古墳時代前期から後期までの古墳を含みますが、この地域に根差した首長層の墓域となっていたと考えられます。甲賀郡内の古墳時代はまだ謎が多く、今後の調査の進展が期待されます。

当時のできごと	
438年	倭王珍（仁徳天皇、あるいは反正天皇）が即位
443年	倭王済（允恭天皇）宗より安東将軍・倭国王に任ぜられる
479年	雄略天皇没 この頃多数の渡来人が来る

泉古墳群

現在の水口町と甲西町の境付近、野洲川を挟んで南北の丘陵が迫る位置に泉古墳群は立地します。ここは、近世の東海道、野洲川を利用した水運、また、信楽を経て大和へ通じる道が集中するところとなっています。古墳群は、第1段丘の平地に築造された大型方墳の泉塚越古墳、第2段丘上に築造された帆立貝形の西罐子塚（にしかんすつか）古墳、大型の円墳の東罐子塚（ひがしかんすつか）古墳、これらの陪塚（ばいちょう）と考えられる3基の古墳と、横穴式石室を主体部とする2基の後期古墳、合計8基の古墳により構成されます。これらの古墳のうち、指定を受けているのは西罐子塚古墳と東罐子塚古墳の2基の古墳です。

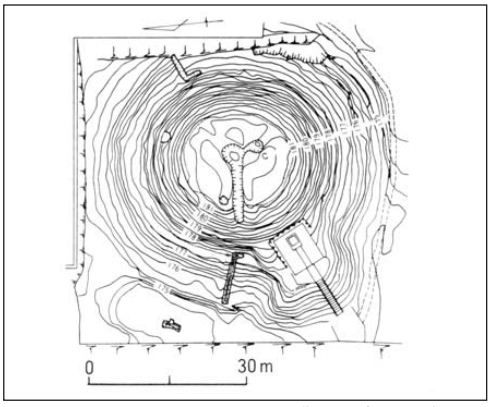
西罐子塚古墳は、全長約60m、後円部径約50m、最大高約5.2mの帆立貝形の古墳で、主体部は調査されていませんが、墳丘上から埴輪が出土しており、この年代から、5世紀の前半に築造されたものと考えられます。

東罐子塚古墳は、西罐子塚古墳の東約100mの所にある大型の円墳で、直径約42m、高さ約5.5mの規模の甲賀郡最大の円墳です。未調査のため時代は確定できませんが、西罐子塚古墳とほぼ同時のものと考えられます。

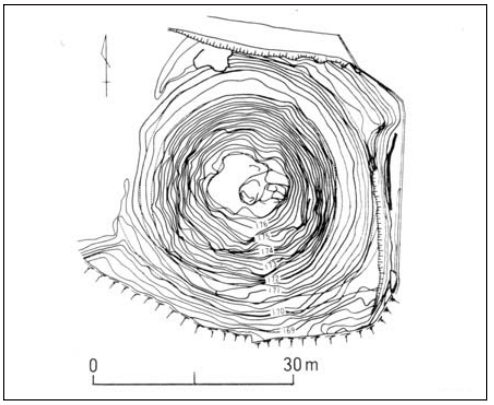
指定はされていませんが、泉塚越古墳は、前方後円墳と考えられていましたが、近年実施した発掘調査の結果、一辺が51mの大型の方墳であることが確認され、出土した埴輪の年代から、5世紀の中頃に築造されたものと考えられます。また、この古墳からはかつて銅鏡が出土しています。



泉塚越古墳出土の銅鏡



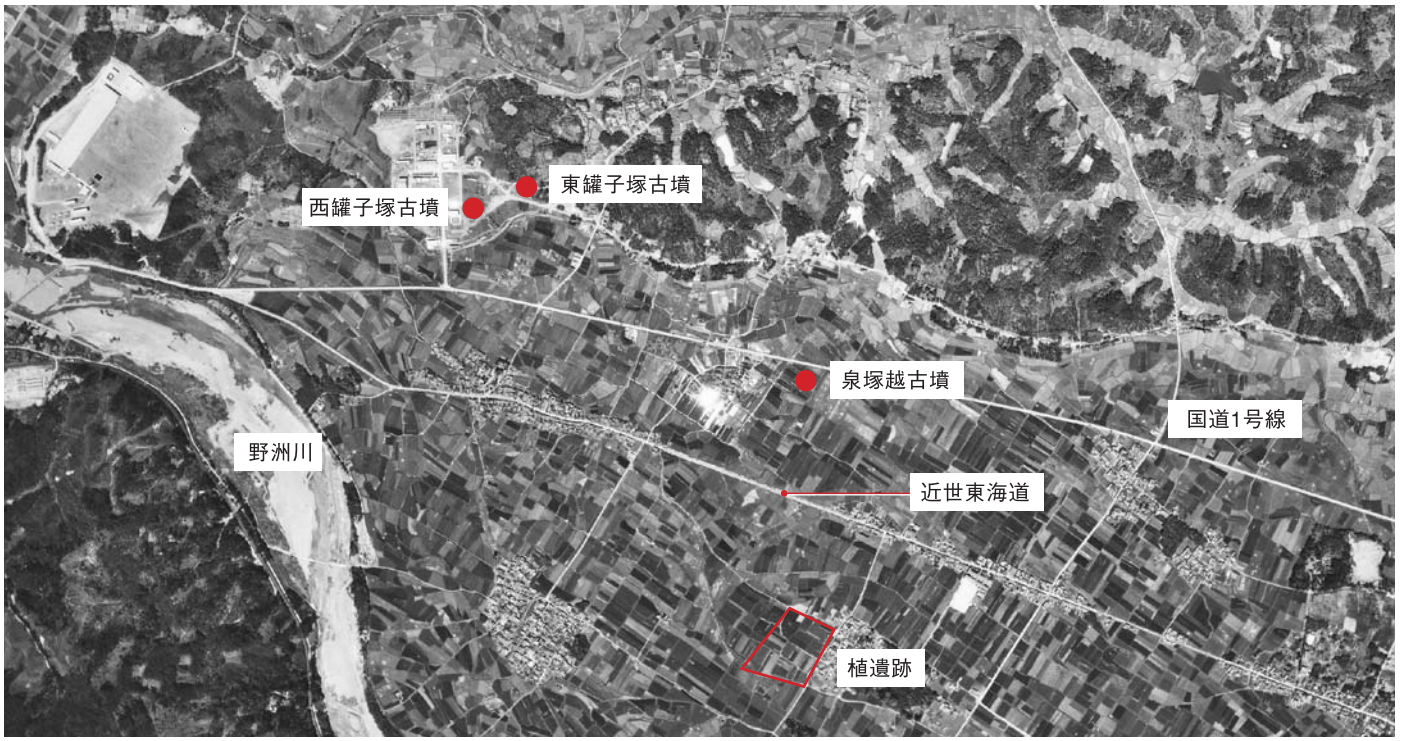
西罐子塚古墳丘実測図



東罐子塚古墳丘実測図

泉古墳群周辺の遺跡

甲賀郡は、多数の中世城郭があることが知られていますが、古代の状況については、ほとんどわかっていませんでした。しかし、平成14年度に行われた、水口町植地先所在「植遺跡」の調査により、５世紀中頃から後半にかけて、つまり、泉古墳群を構成する古墳とほぼ同時期の、大規模な集落が新たに発見されました。特に注目されるのは、床面積が60㎡以上ある2棟の倉庫を含む、3棟の大型倉庫が見つかったことです。この規模の倉庫跡は当時の大王（天皇）と密接に関わる地域で希に見つかる遺構で、この地域が中央と密接なつながりのあったことを示しています。この集落を治めた者が泉古墳群に眠っていると考えられます。



泉古墳群周辺空撮写真　昭和30年代



泉塚越古墳発掘調査　葺石が見える

関連する文化財

泉塚越古墳（水口町）	泉古墳群の一画をなす方墳
植遺跡（水口町）	泉古墳群の時期と一致する古墳時代の大集落。大型倉庫群が特徴
園養山古墳群（甲西町）	甲賀郡最大規模の後期古墳群

もっと深く知りたい

水口町立歴史民俗資料館	☎0748-62-7141	甲賀郡水口町水口5638
安土城考古博物館	☎0748-46-2424	蒲生郡安土町下豊浦6678
滋賀県埋蔵文化財センター	☎077-548-9681	大津市瀬田南大萱町1732-2

泉古墳群へのアクセス　JR草津線　三雲駅下車



【参考文献】〔近江の遺跡〕（財）滋賀県文化財保護協会　〔塚越古墳発掘調査報告書〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月